

# みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインタープリターによる四方山話のコーナー。  
みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

## 猿の引き出し～自然に携わる人の思考回路～ 今号の担当：坂本 泰江（きんちゃん）

タイトルの言葉「猿の引き出し」は、スタッフの聞き間違いから生まれた言葉です。何という言葉聞き間違えたでしょう？

ある日デスクワークする私を挟んで、前方のやぎちゃんと後方のゆうき～が会話していました。

やぎちゃん「Facebookの内容だいたいできたから、あとで見てね。タイトルは春のきざし。」  
その時ゆうき～は汚れにまみれた事務室の備品の拭き掃除の真っ最中。ゴシゴシ手を動かしながら耳だけはやぎちゃんに向いています。

ゆうき～「え？何て？猿の引き出し？」  
やぎちゃん「は・る・の・き・ざ・し」 } ×3回

普通ならこんな聞き間違い方はしないかもしれませんが、動植物の名前には動物の名前がついたものがあり（たとえばキツネノボタン、サルノコシカケなど）、ゆうき～はサルノヒキダシなる生物のことでも言っているのかと思ったそうです。自然に携わる人の思考回路ゆえ、と主張するゆうき～。いや、いつも独創的な発想の持ち主のゆうき～だからでは…と思う私。でもサルノヒキダシという名のきのこや苔はありそうだと共感してわくわく想像してしまうところは、私たちが自然に携わる人だからかもしれません。

そんな具合で、翌日も空想上のサルノヒキダシで会話が盛り上がるみどり森の事務室でした。「サルノヒキダシ」なる生物は存在しません。でももしあるとしたら、あなたはどんなものを想像しますか。



## さいたま緑の森博物館 利用案内



狭山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>  
※ QRコードから開けます

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）  
祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、  
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き  
または「金子駅入口」行き乗車、約25分  
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の利用ルール 緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- ラジコンやドローンは使わないでください。

## さいたま緑の森博物館（愛称:みどり森）は、2025年7月で開園30周年を迎えます！！

56号でもお伝えしましたが、今年でみどり森は30周年。記念イベントを筆頭に様々な形でみどり森の記念の年を盛り上げていきたいと思ひます。

さて、今号の特集はエノキと生きものの関わり。みどり森でエノキと言えば、展望広場に生えているシンボルツリー、通称大エノキ。樹齢100年以上とも言われています。私たちも、この大樹のように地域に根ざし、世界に枝葉を広げ、未来に種をまいていく、そんな存在を目指していきたいと思ひます。



春の大エノキを北から望む



長谷川勝（まちゃ）

4月から世田谷区に新規開園する農業公園を担当するため異動となりました。14年間にわたり勤務し、多くの方々とイベントで一緒できた思い出が強く心に残っています。本当に楽しい日々を過ごせたのも、みどり森を愛してくださる皆様のおかげだと思います。これからも、みどり森にいっぱい遊びにいらしてくださいね！ご挨拶出来なかった方もたくさんいらっしゃいますが、世田谷の公園にも遊びに来てくださいね～！

この春から、みどり森では新たに2名のスタッフが仲間入り！どうぞよろしくお願ひいたします。

## イベント情報（4～6月）

詳細は、当館ホームページまたはお電話にてお問合せください。

イベント名	時間	概要	申込期間
4/12(土) 大人の自然観察会「春の昆虫」	9:30～12:00	春の里山で昆虫を観察します。中学生以上向け。	3/12(水)～
4/13(日) 里山ようちえん【カエル組】	10:00～13:30	子どもの成長段階や好奇心に合わせて、親子で里山の自然の中で遊びます。	3/13(木)～26(水) 正午
4/19(土) 里山ようちえん【オタマ組】	10:00～13:30		3/19(水)～4/6(日) 正午
4/29(火祝) 親子里山Dayキャンプ	9:30～15:30	春の森探検やアウトドアクッキングを楽しみます。	3/29(土)～4/11(金) 正午
5/3(土祝) みどり森お助け隊「外来植物の抜き取り作業」	10:00～12:00	里山の管理作業ボランティアを体験します。今回は植物を抜き取ります。	4/3(木)～
5/4(日) 里山の恵みクラフト	10:30～12:00	里山の管理で発生した材や稲わらを活用したクラフト体験です。	当日受付
5/5(月祝) 親子はじめての自然観察会「昆虫観察と昆虫ハウス作り」	9:30～12:00	昆虫を観察し、昆虫が巣に利用する場所を作ります。小学生の親子向け。	4/5(土)～18(金) 正午
5/11(日)～全6回 食育体験教室「田んぼでお米を作ろう」	各回 10:00～15:30	田おこしから脱穀まで、お米ができる過程を全6回で体験します。	4/1(火)～

【イベントのお申込みについて】 ※ 諸事情により中止・延期・定員等の変更の可能性があります。

- ・お申込みは、HP内「イベント情報」の専用フォームからお願いします。（お電話でも受付いたします。）
- ・事前申込のイベントは、原則実施の1か月前から受付開始です。

# エノキにあつまる虫たち

ニューズレターNo.22で第一弾「コナラ・クヌギ編」を紹介してから満を持しての第二弾！今回は、エノキと虫たちとのつながりを紹介します。

みどり森には、樹齢100年以上と言われている大きなエノキが展望広場にありま。その木をスタッフは「大エノキ」と呼び、親しんでいます。

## オオムラサキ / ゴマダラチョウ 幼虫 越冬

秋に孵化した個体は、幼虫のまま越冬する。落ち葉と同じ色に変色し葉の裏側に貼りついてジッと春を待つ。

この幼虫は、オオムラサキ？ ゴマダラチョウ？ 背中突起の数が注目！

大エノキのように、樹の根元に落ち葉溜まりがあると、越冬している可能性があります。そのため、ロープを張り、踏まれないようにしています。

.....ココ見て！.....

## オオムラサキ 幼虫食

主にエノキの葉を食べる。越冬した幼虫が春に成長し初夏頃に蛹になり成虫は夏に見られる。

① ② ③ ④  
背中の突起は4対。アカボシゴマダラ(外来種)の幼虫も4対だけど、②と④が小さめだよ。

.....ココ見て！.....

葉と幼虫の色が似ていて見つけるのが難しいのですが、大エノキは目線の高さには枝があるので、さがしやすいです！

## ゴマダラチョウ 幼虫食

主にエノキの葉を食べる。初夏と秋の2回発生するため、葉の表側にいる幼虫が見つかる期間が長い。

.....ココ見て！.....

オオムラサキに似ていますが、背中突起が3対なのが見極めポイントです。

## ヒオドシチョウ 幼虫食

春に1回発生。幼虫は集団で過ごし、エノキやヤナギ類の葉を食べる。特にエノキを好む。

.....ココ見て！.....

みどり森では、成虫も幼虫も見掛けることが少なく、ここ数年は成虫を1頭記録したのみ。それ以前も数える程度ですが、2019年だけ他の年よりも確認記録が多かったです。

## テングチョウ 幼虫食

主にエノキの葉を食べる。みどり森では、基本的に初夏に1回発生。

.....ココ見て！.....

① 全身が緑色 ② 全身が紫褐色 ③ 下半分が黒色の3タイプがあるそうですが、みどり森では①と②を見ることが多いです。今年は全制覇できるかな？

## ヤマトタマムシ 幼虫 成虫食

幼虫は、エノキやサクラなどの枯れ木を食べて成長し、成虫になるとエノキやサクラなどの葉を食べるようになる。

.....ココ見て！.....

夏に大エノキの側をブーンと飛んでいるのをよく見かけます！エノキとの強いつながりを実感します。



## エノキハムシ 幼虫・成虫食

一生を通してエノキの葉を食べる甲虫の仲間。幼虫は5月頃に見られ、成虫は夏の間見られる。

.....ココ見て！.....

幼虫は扁平で特徴的な形。虫食い痕のある葉の近くで、ぺたっとくっついているのが見られます。

## オオシマカラスヨトウ 幼虫食

春～初夏に1回発生し、エノキやクヌギ・コナラなど多くの木で見られる。

.....ココ見て！.....

2024年、案内所前のエノキの葉を食べているところを見ました。おしりの突起が可愛い幼虫。今年も要チェックです！

## ナナフシモドキ 成虫食

いろんな樹種の葉を食べるが、エノキやサクラの葉を好む傾向にある。

.....ココ見て！.....

孵化した幼虫が風に飛ばされ、どこかの木にたどり着く...最初の食草はたどり着いた木次第なので、エノキの葉で小さな幼虫が見られたらラッキー！

## 鳥もあつまる



その理由は...

- ・春から発生する幼虫を食べに来る。
- ・秋～冬は熟した実が人気！
- ・枝が横に広がる樹形をしているので止まりやすい



※ここに載っているのは、実を食べに来る鳥たちです。

1本のエノキ、特に大エノキともなると、多くの生きものと強いつながりがあるんですね。

エノキ以外の木でも、同じように他の生きものとのつながりがあります。私たちの身近なところで言うと...サクラやケヤキにも！「この木にこの虫たち」第三弾で紹介するかもしれませんが、ぜひみなさんも調べてみてください。